

検査ニュース Vol.3 No.7

ご挨拶

平素より佐賀県健康づくり財団 佐賀県健診・検査センターの業務にご協力及びご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今回は、新規項目、検査内容変更、検査受託中止及び尿沈渣の結果報告内容の変更についてご案内致します。

佐賀県健康づくり財団
佐賀県健診・検査センター
専務理事 志 田 正 典

●新規検査項目のご案内

■抗ヘリコバクターピロリ抗体〔LA〕

■胃がんリスク層別化検査（ABC分類）〔LA〕（令和2年4月1日（水）ご依頼分より）

ABC分類とは、血液中のヘリコバクター・ピロリ抗体価とペプシノゲン値を調べることにより、胃がんリスク評価を行うもので、住民検診・職域検診・人間ドック等でご利用いただいております。

今回、新しく推奨されたピロリ菌抗体検査、また、ABC分類検査を認定NPO法人 日本胃がん予知・診断・治療研究機構から出された「新しいABC分類胃がんリスク層別化検査（ABC分類）2016年度改定版 運用の提案」に基づいた検査名称で改めてご案内致します。

抗ヘリコバクターピロリ抗体〔LA〕検査は、これまでピロリ菌に現在感染している状態を“現感染”、感染していない状態を“未感染”と分けていましたが、血液中のピロリ菌抗体検査において、未感染と現感染が混在する問題（陰性高値）がありました。本検査は、問題点を無視できると日本胃がん予知・診断・治療研究機構から推奨されている試薬を使用しており、より精度が高い検査です。

胃がんリスク層別化検査（ABC分類）〔LA〕は、ピロリ菌の除菌など、過去の感染が推定される状態を“既感染”に分けていますが、抗体価のみでは“未感染”および“現感染”との診断が困難なため、『ABC分類除菌あり』の項目コードを新設致しました。除菌治療後にABC分類をご依頼される際は『除菌あり』を明記ください。

除菌対象となる現感染者を効率的に把握し、胃がん予防の一助としてご活用ください。

項目コード No	検査項目	検体量 (mL)	容器	実施料 判断料	所要 日数	検査方法	基準値 (単位)	備考
1799	抗ヘリコバクターピロリ抗体〔LA〕	血清 0.5	スピッツ	80 ※5	2~4	ラテックス凝集比濁法	10未満 (U/mL)	※名称が変更となりました。 旧)ヘリコバクターピロリIgG抗体
3721	胃がんリスク層別化検査(ABC分類)〔LA〕	血清 1.0		—		抗ヘリコバクターピロリ抗体〔LA〕 〔ラテックス凝集比濁法〕	抗ヘリコバクターピロリ抗体〔LA〕 10未満 (U/mL)	<ピロリ菌の除菌治療前> ペプシノゲンとヘリコバクターピロリ抗体を実施し、それぞれの検査結果とABC分類をご報告いたします。
3731	胃がんリスク層別化検査(ABC分類)〔LA〕			—		ペプシノゲン〔CLEIA〕	+3:PG1 30ng/mL以下 かつ 1/2比 2.0以下 +2:PG1 50ng/mL以下 かつ 1/2比 3.0以下 +1:PG1 70ng/mL以下 かつ 1/2比 3.0以下 —:上記以外	<ピロリ菌の除菌治療後> ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、ABC分類の判定対象にはなりません。除菌判定結果に関わらず、E群(除菌群)としてご報告いたします。

※5 免疫学的検査判断料

検査ニュース Vol.3 No.7

●新規項目

遊離脂肪酸 (NEFA) (令和2年4月1日(水)ご依頼分より)

血清中の遊離脂肪酸は総脂肪酸の4~5%程度であり、他の脂質成分と比べると極めて微量の成分ですが、組織の重要なエネルギー源です。通常、糖質や脂質代謝の指標として脂肪組織における中性脂肪の動員状態、心筋や肝、或いはその他末梢組織での利用度を把握するために用いられ、臨床では糖尿病、肝疾患のほか、各種の内分泌疾患で増減がみられます。

本項目は、血中ケトン体分画と同時に測定することで、その重要性が再評価されており、先天代謝異常症であるケトン体代謝異常症、脂肪酸代謝異常症、カルニチン回路異常症などの鑑別診断にご活用ください。

項目コード No	検査項目	検体量 (mL)	容器	実施料 判断料	所要 日数	検査方法	基準値 (単位)	備考
1200	遊離脂肪酸 (NEFA)	血清 0.3	スピッツ	59 ※3	2~4	酵素法	140~850(μEq/L)	

※3 生化学的検査(I)判断料

●検査内容変更

(令和2年3月30日(月)ご依頼分より)

案内書 掲載頁	項目コード No	検査項目	変更内容	現	新	備考
118	1280	カドミウム Cd	基準値 (単位)	血液	1以下(μg/dL)	委託先による血液材料の基準値変更(2019年度版 ACGIH の BEIsに準拠)
	尿			3.8以下(μg/L)	▲変更ございません	

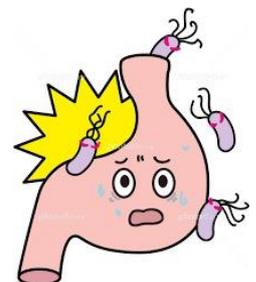
●検査受託中止

■令和2年2月28日(金)ご依頼分をもって受託中止

案内書 掲載頁	項目コード	検査項目	備考
90	2115	ロタウイルス抗原	試薬製造販売中止のため

■令和2年3月31日(火)ご依頼分をもって受託中止

案内書 掲載頁	項目コード	検査項目	備考
90	1540	ヘリコバクターピロリIgG抗体	検査受託中止により、新規項目にてご案内致します。
46	3390	ABC検診	前ページ参照



検査ニュース Vol.3 No.7

●尿沈渣の結果報告内容の変更 (令和2年4月1日(水)ご依頼分より)

「尿沈渣 2010」(日本臨床検査標準協議会:GP1-P4)に基づいた報告に変更致します。

1. 報告形式の変更内容

- ①強拡大視野(×400、HPF: High Power Field)で報告する成分(血球系、上皮細胞系)において、下記のように変更致します(表1)。
- ②円柱類は5段階表現で報告します(表2)。

表1. HPF報告値の変更表

現在の報告値	変更後
1個未満/HPF	1個未満/HPF
1~4個/HPF	1~4個/HPF
5~9個/HPF	5~9個/HPF
10~19個/HPF	10~19個/HPF
20~29個/HPF	20~29個/HPF
30~39個/HPF	30~49個/HPF
40~49個/HPF	
50~99個/HPF	50~99個/HPF
100個以上/HPF	100個以上/HPF
無数/HPF	

表2. 円柱類の判定基準

円柱類の個数	現在	変更後
0個/WF	(-)	(-)
1~9個/WF	(1+)	(1+)
10~29個/WF		(2+)
30~99個/WF		(3+)
100~999個/WF	(2+)	(4+)
1000~9999個以上/WF	(3+)	(5+)
10000個以上/WF	(4+)	

※WF(Whole Field): 全視野

2. 尿中赤血球形態の報告

腎炎等で出現する「糸球体型赤血球」の報告を行います。

報告は、糸球体型赤血球を5個以上/HPFを認めた場合で、出現程度を「大部分」、「中等度混在」、「少数混在」の3段階で報告します(表3)。

表3. 糸球体型赤血球形態の3段階分類基準表

		全体の赤血球 (/HPF)					
		5~9個	10~19個	20~29個	30~49個	50~99個	100個以上
糸球体型赤血球 (/HPF)	5~9個	大部分	中等度	中等度	少数	少数	少数
	10~19個		大部分	中等度	中等度	少数	少数
	20~29個			大部分	中等度	中等度	少数
	30~49個				大部分	中等度	中等度
	50~99個					大部分	中等度
	100個以上						大部分



3. 名称の変更

旧) 移行上皮細胞 → 新) 尿路上皮細胞